

デジタル監視社会はどこまで悪化したか！！

私たちを取り巻くデジタルの落とし穴はどこに？

■2023年7月30日（日）13：30

■かながわ県民センター 305会議室

▼パネラー

カナダの監視法制と戦争

小笠原みどりさん（ジャーナリスト・社会学者）

見えないデジタルの落とし穴

小倉利丸さん（盗聴法に反対する市民連絡会・JCA-NET）

広がる顔識別監視カメラシステム

角田富夫さん（共謀罪NO!実行委員会）

監視社会化とマイナンバー制度

宮崎俊郎さん（共通番号いらないネット）

「4000人のサイバー部隊、2万人のサイバー要員を目指す自衛隊」

木元茂夫さん（すべての基地にNO!を・ファイト神奈川）

コロナ禍の生活はデジタル化を一気に加速し、私たちもデジタルの波に押し流されている感があります。最近話題のAIを用いたChatGPTはじめ、twitterやfacebook、インスタグラムなどSNSは活動の場にも大きな影響力を及ぼしています。一方、戦争国家へと道を進める政府は安全保障戦略を大きく転換し、「能動的サイバー防御」などサイバー空間を視野に入れての戦争体制を考えています。戦争と監視は切り離せないもので、インターネットをはじめとするサイバー空間は、集会、結社、言論など表現の自由の空間でもあり、検閲されたり、制約されたり、情報操作されていく可能性があります。

デジタル監視社会のなかで私たちのコミュニケーションはどうあるべきか、私たちを取り巻くデジタル監視社会を様々な角度から見ていく必要があると思います。

日本で初めて、エドワード・スノーデンにインタビューされた小笠原みどりさんがカナダから来られるので一緒に考えてみたいと思います。

★主催：盗聴法に反対する市民連絡会 ★参加費：500円
*連絡先：090-6138-9593（なかもり）
★賛同：JCA-NET